

第1回 2学会合併・資格制度WG 議事録

追記 2023.3.30

<p>日時：2023年3月17日(金) 18:30～19:23 場所:WEB(Zoom)会議</p>	<p>記録：鈴木信哉</p>
<p><出席者> 専門医部会：鈴木信哉、三浦邦久、和田孝次郎 専門技師部会：中島正一、折原和広、灘吉進也、春田良雄 オブザーバー：四ノ宮成祥、柳下和慶 ー順不同・敬称略ー</p>	<p><欠席者> 専門医部会：奥寺敬、土居浩 専門技師部会：右田平八、松田健太郎</p>
<p>I WG 議事録</p> <p>1. 部会長選出 専門医部会：鈴木信哉 専門技師部会：灘吉進也 → 2023.3.30 から折原和広</p> <p>2. 基本的な考えの合意 (1) 専門資格はそのまま無条件で移行 (2) 合併後の初回更新時は旧所属学会制度の必要単位等の条件で更新審査を行う。 (3) その次の更新からは合併後の新制度基準で更新審査を行う。 (4) 合併後に新規に専門医、専門技師を申請する場合は、合併後最初から新制度の条件で審査する。</p> <p>3. 会員等へのアナウンス 両学会ホームページ、学会誌、学会(地方会含む)等で上記の基本的な考えを適宜アナウンスして会員等から意見を求める。</p> <p>4. 合併までの認定試験予定 2024年4月に両学会が合併するが、2024年1月にJACHODで予定されている認定試験は予定どおり実施する。</p> <p>5. 専門資格の名称、新制度における資格申請条件及び資格更新条件の検討 (1) 専門医部会と専門技師部会に分かれてそれぞれの部会で検討する。 (2) 2023年5月末までに案を作成する。 (3) 2023年6月に第2回2学会合併・資格制度WG会議において部会で作成した案についてWG案としてまとめる。</p> <p>II 専門部会議事録</p> <p>1. 専門資格の名称 「<新学会名称>専門医」とする。</p> <p>2. 新制度における新規資格申請条件 (1) 医師免許取得後、基本領域の医学会の認定医ないし専門医であること (2) 高気圧酸素治療と患者急変時に必要な手技*ができること (3) 高気圧酸素治療と潜水医学に関して深い知識と経験を有すること (4) 申請時において、引き続き3年以上、本会会員(含む：旧日本高気圧環境・潜水学会会員、旧日本臨床高気圧酸素・潜水学会会員)であること (5) 高気圧酸素治療装置を有する医療施設において、2年以上の高気圧酸素治療の実地経験(実務経験)を有すること (6) 2年間で10症例以上の高気圧酸素治療経験**を有すること (7) 本会が定める専門医研修講座を申請前の3年以内に受講していること (8) (2)項目の高気圧酸素治療と潜水医学に関する深い知識について試験を行い評価する。 * 心肺蘇生法、気管挿管、除細動、胸腔ドレーン挿入、創傷処置、鎮静・鎮痛薬の投与方法、中心静脈カテーテル挿入、動脈穿刺と血液ガス分析、機械的換気による呼吸管理、心肺蘇生に必要な超音波検査(胸腹部)、高気圧酸素治療装置の操作法：高気圧酸素治療に限定せず。 ** 経験症例の詳細なレポートについては現段階では求めず、所属長の確認のみとする。</p> <p>3. 資格更新条件の検討 (1) 有効期間は交付の日から5年とする。 (2) 学術総会出席1回以上、地方会(あるいは専門医研修講座)出席1回以上を含め、総合計〇〇単位以上を取得していなければならない。 (3) 学術総会出席:16単位、地方会出席:4単位、専門医研修講座:8単位であるが、地方会出席単位を多く設定する。</p>	